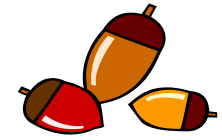




学校だより



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>

10月号

学校教育目標 ㊦いさつから輪を広げる子 ㊧ふうして学び続ける子 ㊨たしもあなたも命を大切にす子

ゆたかな学びを

副校長 武藤 晋

朝晩、涼しく感じる日が増えてきました。校庭の木々も少しずつ葉を落とし始め、秋の訪れを感じさせます。前期も残すところ数日になりました。平成29年度も折り返し地点です。

先日、夏休みの「南部まつり」に続いて、松陽高校の文化祭に30名ぐらいの子が参加して、「あくわっ子ソーラン」を踊ってきました。大勢の人たちの前で踊り、たくさんの拍手をもらって、子どもたちの顔は、とてもうれしそうに見えました。

本校では、中学校はもちろんですが、高校や幼稚園とも交流をしながら教育活動を行っています。つい先日も、6年生がいずみ野中学校と音楽交流を行いました。体育館で練習する姿は、とても真剣で、きれいな歌声を響かせていました。当日も、堂々と一生懸命歌うとともに、中学生の歌声を聴くことでたくさんの刺激を受けて帰ってきたようです。

また、1・5年生も10月のみなみ幼稚園との交流に向けて、幼稚園の子が喜ぶような交流会の計画を立てようと、事前に幼稚園を訪問し、好きな遊びなど直接インタビューをしたり、ソーラン節の演技を見てもらったりして、交流のきっかけ作りをしました。これから、今回の訪問で得た情報をもとに、自分たちで話し合い、より楽しい会になるように企画を練って進めていくこととなります。



みなみ幼稚園訪問のようす

12月には、「あくわ博」で今年もいずみ野中学校の吹奏楽部や隼人高校のソングリーディング部を招いて演奏や演技を披露していただいたり、松陽高校の書道部に書初めの練習を手伝っていただいたりして、交流を深めていく予定です。

本校は特に単級のため、人とかがわりながら学ぶこと、体験を通して学ぶことは、とても意味のあることだと考えています。異校種との交流やかかわりを通して学ぶ中で、相手意識や目的意識が持てるようになり、「知りたい」「やってみたい」「もっとこうした方がよいのでは」といった思いや意欲が生まれてきます。さらに、課題や目的に向かって、自分たちで調べたり考えたり話し合ったりすることで、主体的な学びへとつながっていくと考えます。さらに、交流を通して、他者への思いやりの心が育ったり、素晴らしいものへのあこがれの気持ちが膨らんだり、コミュニケーション能力が高まったりしていくと考えられています。

これからも、人とかがわりながら学ぶ場や体験を通して学ぶ場を多く取り入れ、相手意識や目的意識、子どもたちの興味・関心を引き出し、主体的で豊かな学びをめざしていきたいと思ひます。